

新型コロナ

# 相談室だより



2020年12月号  
宮古島市新型コロナウィルス感染症  
電話相談室  
☎0980-72-4788  
【相談件数】  
10月 119件

## 宮古島では、酒を伴う長時間の密な飲食等で感染が広がっています（裏面に関連）

例年、年末年始にかけて忘年会や新年会と、気の置けない仲間たちや離れた親族があつまる機会が続きます。宮古島では、換気が悪い居酒屋・カラオケ・接待を伴う店などにおいて、濃厚接触の条件が重なることにより、感染が広がっています。

これまでの宮古島の夜の楽しみ方は、ひとつの店舗でとどまらず、二軒・三軒とはしごをしたり、連日お店を変えて交流を楽しむことが多いために、ひとりの感染者から、たくさんの方へ感染を広がってしまうことが特徴です。  
**市民の皆様は、各店舗における検温や手指消毒、名簿記入、オトリー自粛などの感染拡大防止の取組にご協力おねがいします。**

## 市中感染は様々な業種のサービス低下を招く

市内に感染者が増加することによって、誰でも日常生活の中で感染する「市中感染」のリスクが高まります。

働き盛りの方々が感染すると仕事にも影響し、様々な業種のサービス低下を招くこととなります。ひとりひとりが自覚を持ち、マスク着用・手指消毒・個人の体調管理はもちろん、換気・一定の距離を保つ・短時間で済ませるなど感染を広げない意識で行動することが大事です。

## 体調がすぐれないときは出歩かないことが大事

だるい・鼻水・咳、微熱といった軽い症状は、もしかすると新型コロナかもしれません。

疲れている、または症状があるときは、コロナにも感染しやすくなります。自己防衛の緩みやすいお酒の席や様々な業種・幅広い年齢層が集まるモアイなど、ひとの集まる場面への参加はひかえましょう。



## 集団発生を防いで、島の脆弱な医療を守ろう

島内唯一の感染症指定医療機関である宮古病院は、コロナの入院患者だけでなく濃厚接触者の大規模な検査、救急医療、緊急手術（緊急帝王切開や脳梗塞、心筋梗塞、交通外傷など）、がん治療、精神科医療などの医療機関では対応できない患者の診療を行っています。

これらの診療を継続できるように、市民が協力して集団発生（クラスター）を防ぐことが、島の脆弱な医療を守るにつながります。

## 飲食業・接客業のみなさまへ

経済活動が再開した現在、コロナ対策は「入れない・広げない・うつさない」から「入れても・広げない・うつさない」へ変換が必要です  
お店側の対策として5つのお願いがあります

- ① **換気**：窓や扉は常に20センチ程度開けて、空気の流れをつくる
- ② **従業員の体調管理**：従業員の出勤前検温・手指消毒、体調不良の従業員は休ませる  
\*従業員から客への感染が急激な感染拡大の発端となる傾向があります
- ③ **従業員控え室の管理**：店内同様に、換気をよくし、休憩・食事時間が重ならないような工夫を
- ④ **客の入店前検温・手指消毒**：水際対策の基本です
- ⑤ **日々の入店者名簿（個々の連絡先含む）の作成**：コロナは発症前の感染力が最も強く、退店後数日経ってから発症する方がみられます

年末年始で店の利用が増えると、感染拡大のリスクは格段に上がります。今一度、各店舗における感染対策の確認をお願いします

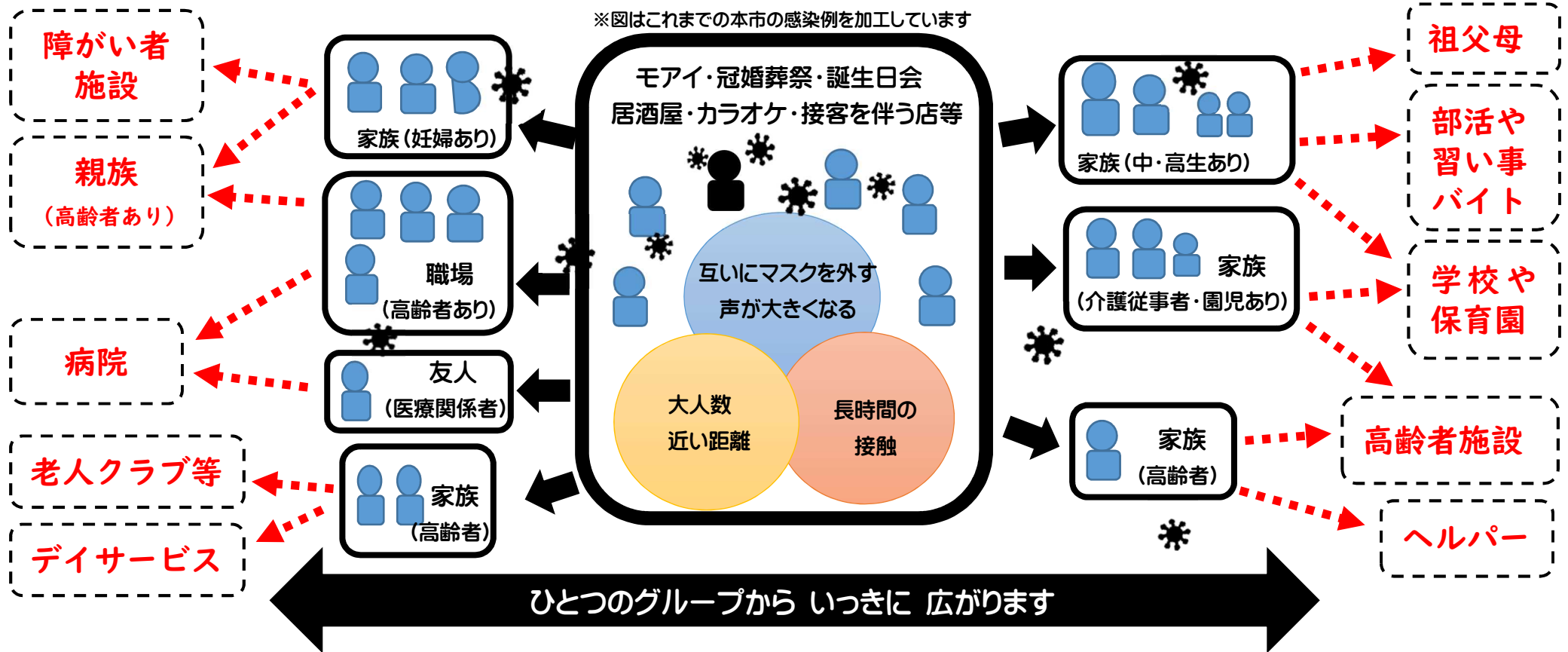
## 【生活の中で感染しやすい場面】



# お互いにマスクを外す場面に注意

宮古島では、観光客からの感染よりも 仲間どうしの長時間の密な飲食等で 感染が広がっています

※図はこれまでの本市の感染例を加工しています



ひとりひとりが自覚を持ち、  
感染を広げない意識で行動しましょう